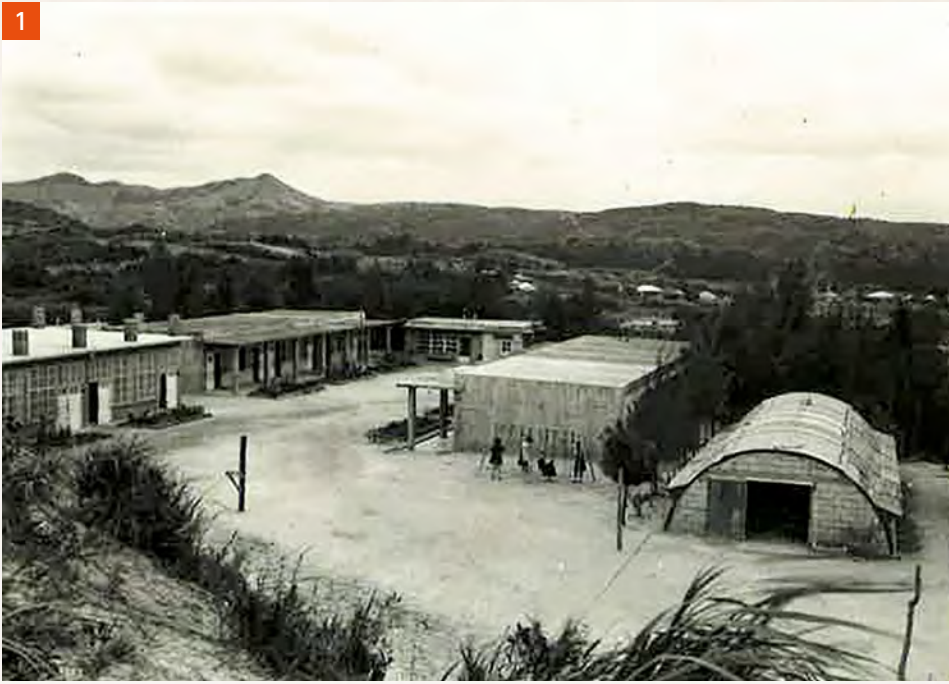


たくさんの思い出を

ありがとう

喜瀬武原小学校休校



The scene of 1957-2022

- ① 昭和39年に撮影された旧校舎。
- ② 昭和62年撮影。竹馬で遊ぶ子どもたち。
- ③ 昭和63年撮影。旧校舎での最後の卒業式。
- ④ PTAや生徒たちでスタンドを作りました。
- ⑤ 緑の少年団。
- ⑥ 平成3年撮影。校舎裏にあるためき池。
- ⑦ 創立45・40周年記念式典。
- ⑧ 小中合同運動会。
- ⑨ 年末恒例の門松づくり。
- ⑩ ジャガイモ収穫祭。植え付けから収穫までを子どもたちで行いました。
- ⑪ 美化作業を行う子どもたち。
- ⑫ 令和4年撮影。全児童で雪だるまを作りました。
- ⑬ 喜瀬武原小学校お別れ式。



地域と歩んだ歴史に幕

昭和32年に喜瀬武原小学校として認可、昭和37年には喜瀬武原小中学校として設立、昭和63年3月には現在地に新築移転しました。多い時には100人を超える児童が在籍したこともありましたが、児童数の減少に伴い今年3月に休校となりました。

喜瀬武原小学校は1字1学校で地域とかかわりが深く、開校以来、地域に愛されながら共に歩み、根付いた学校として親しまれてきました。運動会を合同で行ったり、年末の門松づくりを開催するなど、小規模校ならではの特色ある教育が展開されてきました。

校歌の1番にある「山また山にいだかれて」という歌詞のように、恵まれた自然環境の中でのびのびと育ち、明るく素直な子どもたちは地域を賑やかにしてきました。また、沖縄県第1号、村内唯一となる「緑の少年団」が結成され、校舎裏にある「友遊山」や「ためき池」など豊かな自然を生かした教育活動が高く評価されてきました。

喜瀬武原小学校は児童96人で始まり、卒業生615人を送り出し、65年の歴史に幕が下ろされました。